



令和8年度鳴門教育大学幼稚園教諭免許法認定講習

開設科目名	免許法施行規則に定める科目区分等	各科目に含める必要事項	単位数	担当講師	日程
幼児と環境	領域に関する専門的事項に関する科目	領域に関する専門的事項	1	塩路 晶子 鳴門教育大学教授	7月26日(日) 7月27日(月)
保育内容(人間関係)	保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	1	佐々木 晃 鳴門教育大学教授	11月14日(土) 11月15日(日)
教職論	教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	1	湯地 宏樹 鳴門教育大学教授	12月19日(土) 12月20日(日)
幼児理解と保育実践の心理学	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	1	田村 隆宏 鳴門教育大学教授	8月4日(火) 8月5日(水)
教育相談論	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	1	小倉 正義 鳴門教育大学教授 木村 直子 鳴門教育大学准教授	10月3日(土) 10月4日(日)
子どもの理解と援助	大学が独自に設定する科目	大学が独自に設定する科目	1	垂髪 あかり 鳴門教育大学准教授	8月28日(金) 8月29日(土)

◆ 上記6科目を全日程オンライン(同時双方向型遠隔)で実施します。各科目の定員は30人です。

【受講資格】

幼稚園教諭二種免許状を有しており、幼稚園教員としての勤務経験がある方。なお、認定こども園の保育教諭としての在職年数も認められることがあります。

詳細は、所属する各都道府県教育委員会にお問い合わせください。

教員免許状取得にあたっての注意事項

一種免許状の取得に必要な単位数は、幼稚園教員として勤務した在職年数により異なります。

在職1・2年を経過することにより最低単位数で免許申請が可能となります。ただし、取得すべき科目や一種免許状申請に必要な手続きは、各都道府県教育委員会により異なります。

本受講を申し込む前に科目の概要を参考に必ず所属する各都道府県教育委員会に確認してください。

なお、本学が今年度開講する幼稚園教諭免許法認定講習は、上記6科目6単位です。今年度の本講習のみでは、一種免許状取得に必要な最低単位数を満たすことはできませんので、予めご了承ください。

【講習スケジュール】

講習スケジュール(1日目)		講習スケジュール(2日目)	
8:30-8:50	出欠確認	8:30-8:50	出欠確認
8:50-9:00	オリエンテーション	8:50-9:00	オリエンテーション
9:00-10:30	1限目	9:00-10:30	1限目
10:40-12:10	2限目	10:40-12:10	2限目
13:00-14:30	3限目	13:00-14:30	3限目
14:40-16:10	4限目	14:40-16:10	4限目
		16:10-17:00	最終レポートの説明・事後アンケート等

全科目とも2日にわたって実施します。2日目の4限目終了後からその当日中にかけて最終レポート等が課される予定ですので、ご注意ください。

【お問い合わせ先】 鳴門教育大学 企画戦略部 地域共創課 教育連携企画係

TEL : 088-687-6128 E-mail : koushin@naruto-u.ac.jp

【出欠・単位認定について】

- ◆ 科目ごとに「出席時間数（5分の4以上出席）」及び「最終レポート等」により合否を判定し、合格者には単位修得証明書をメールで送付します（令和9年1月下旬を予定）。
- ◆ 科目ごとに5分の4以上の出席がない場合または期限内に最終レポート等の提出がない場合は、単位認定の対象にはなりません。

【受講料及び受講の決定について】

- (1) 受講料の額：1単位 5,000円×受講科目数
ただし、講習によっては、教材費その他の費用を負担いただくことがあります。
- (2) 納付方法：6月25日（木）頃に申込者あてに受講料請求のメールを送付します。
7月6日（月）までに受講料を納付してください。
- (3) 受講者の決定：受付は先着順とし、受講者の確定は、受講料の納付を確認した時点となります。
- (4) 受講許可通知：7月16日（木）までにメールで送付します。
- (5) 受講料の返還：納付された受講料は、返還しません。ただし、以下の場合には全額返還します。
 - ① 本学の責めに帰すべき理由により講習を開講しない場合
 - ② 天災等により本学が講習の開設を中止した場合

【申込方法等】

- (1) 申込先：鳴門教育大学 企画戦略部 地域共創課 教育連携企画係
（郵送） 772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地 （E-mail） koushin@naruto-u.ac.jp
- (2) 提出期限：令和8年6月18日（木） 必着
- (3) 提出書類：令和8年度 鳴門教育大学幼稚園教諭免許法認定講習受講申込書 1部
- (4) 提出方法：郵送、持参またはメール添付のいずれかご都合の良い方法でご提出ください。
持参先：鳴門教育大学地域共創棟1階事務室（土・日・祝日を除く9：00～17：00）
- (5) 申込に際しての留意事項：
 - ◆ 事前に、ウェブページに掲載の科目の概要及びオンライン講習の受講方法をご確認ください。
 - ◆ 受講申込書は本学ウェブページからダウンロードしてください。
受講申込書には、申込書記入時の注意事項を記載してありますので、ご一読ください。
 - ◆ 受講上特別な配慮を必要とされる方は、申込時に申し出てください。
ご相談の内容によっては、要望に添えない場合があることを予めご了承願います。
 - ◆ 勤務の都合などで受講を辞退する場合は、速やかに教育連携企画係へ連絡してください。
勤務の都合などで申し込んだ科目を受講できなくなった場合は、事前の申し出に限り、同一年度内に開講する他の科目への振替を許可できる場合があります。科目の振替を希望される場合は、事前にご相談ください。なお、科目の振替有無に関わらず、【受講料及び受講の決定について】(5)に明記しているとおりの、納付された受講料は、返還しませんので、予めご了承ください。

【休講について】

不測の事態等により配信が困難と判断した場合は、講習の中止について、講習の前日に本学ウェブページまたは講習で使用する学習支援システム内に掲載しますので、ご確認ください。





鳴門教育大学大学院 学校教育研究科
高度学校教育実践専攻(教職系)

幼児教育コース

幼児教育に新たな潮流を!!



国立大学法人

鳴門教育大学

現職の教員・保育者の方が対象！

遠隔教育プログラム

幼稚園教諭
小学校教諭
保育教諭
保育士など

マネージャー・リーダーの育成

園長・副園長、主任などのミドルリーダーなど、園のマネジメントやリーダーシップの役割を担う保育者の方が働きながら、おもにオンラインで受講して学んでいきます。

幼稚園、認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）に現に勤務する幼稚園教諭二種免許状のみ取得の現職教員及び保育所（認可外を除く。）に現に勤務する幼稚園教諭二種免許状のみ取得の保育士も受講できます。

スクーリングでは、夏休みなどを利用して、附属幼稚園の保育や行事、園内研修などに参加し、保育カンファレンスによって学びを深めていきます。

全国の保育者とつながりながら、共に学んでいくことができることも遠隔教育プログラムの特徴です。

遠隔教育システム

非同期：オンラインの教材を読んだり、動画を視聴したりしながら学修します。

同期：Zoom などを使って、リアルタイムに対話をしながら学修します。

【履修計画例】

※働きながら学ぶ教員に配慮して、長期履修学生制度（3～5年）を適用しています。

●標準とする2年間での修業年限を3～5年に延長することにより、働きながらも心理的・時間的に余裕をもって学ぶことができます。

3年履修の例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第6時限 18時20分～19時50分	●		●		●
第7時限 20時00分～21時30分	●				●

- 通常業務と履修のバランスを取りながら学修していきたい場合の履修計画例です。
- 週に2～3日、1日に1～2コマを履修に当てます。
- 半期に週当たり、2～3科目を履修します。
- 一年度に6科目を履修することで、修了要件の約30%（12単位）を取得できます。
- 授業の一部について夜間や休日、夏期休業中等に開講します。

教職大学院遠隔教育プログラムに関する
詳しい情報はこちらから…



附属幼稚園をフィールドとした最先端のカリキュラム

鳴門教育大学附属幼稚園をフィールドとした授業を中心として、幼小連携・接続、ICT等コミュニケーションツールの活用、子育て支援や家庭教育など、最先端の保育を学ぶカリキュラムを構成しています。

「保育・教育」「心理発達」「家庭福祉」「保育内容」の4つの研究分野から新しい保育・教育の確立を目指しています。

【幼児教育コース専門科目】

- 乳幼児期から児童期の発達心理と保育
- 幼児期から児童期の子どもの発達と支援
- 子ども家族支援の実際と課題
- 家庭教育支援演習
- インクルーシブ保育・教育の理論と実践
- 小学校への接続・連携を見通した幼児教育
- 幼児教育におけるICTの活用
- 幼児教育マネジメント演習
- 園の組織マネジメントの理論と実践
- 幼児教育実践フィールド研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ



● 幼児教育実践フィールド研究

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
共通 18単位	第1領域 カリキュラムマネジメントの理論と実践 教科カリキュラムの構成と理論					第2領域 授業の理論と実践 教育評価の理論と実践						
	第3領域 生徒指導の理論と実践					第3領域 教育相談の理論と実践						
専門 18単位	第4領域 学校組織マネジメントの理論と実践					第4領域 学級経営の理論と実践						
	第5領域 Society5.0に向けた教育の情報化・情報教育					第5領域 今日的な特別支援教育の課題とその対応						
	学びのセルフデザインⅠ・Ⅱ 教育課題探究Ⅰ・Ⅱ 教育データサイエンス基礎 授業におけるAI・ICT活用基礎											
	幼児教育におけるICTの活用		幼児期から児童期の子どもの発達と支援			幼児教育実践フィールド研究Ⅰ		乳幼児期から児童期の発達心理と保育		園の組織マネジメントの理解と実践		
			家庭教育支援演習					幼児教育マネジメント		子どもの家庭支援の実際と課題		
										インクルーシブ保育・教育の理論と実践		
										小学校への接続・連携を見通した幼児教育		
										教育実践研究Ⅰ		
										教育実践研究Ⅱ		



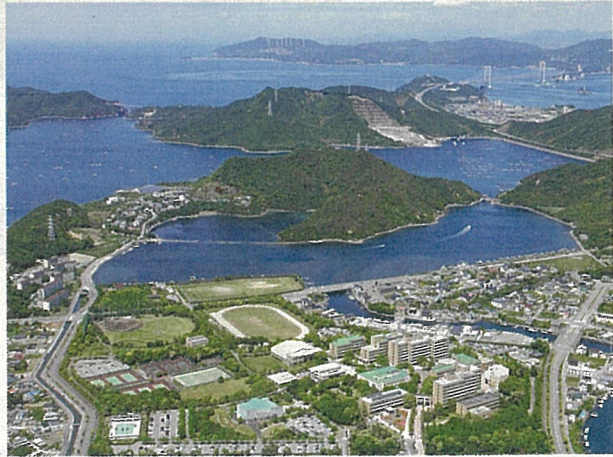
●さらに詳しい情報は「幼児教育コース」のホームページへアクセスしてください。
<https://www.naruto-u.ac.jp/course/e-child/index.html>



入試は、8月日程、10月日程(オンライン)、12月日程(オンライン)、2月日程(オンライン)の計4回実施します。教職大学院遠隔教育プログラムは、10月日程選抜試験で募集します。ただし、合格者数が募集人員を充足しない場合は、12月日程選抜試験で募集します。

現職教員の方は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園に勤務し、3年以上の教職経験者を対象としています。幼稚園教諭二種免許状のみの方も受験できます。

短期大学、高等専門学校、専修大学、各種学校の卒業生で、22歳に達した方は、鳴門教育大学大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められれば、大学院の受験が可能です。



試験内容	筆記試験	口述試験
教職経験者等	—	300点
上記以外	200点	100点

口述試験は、教職経験者等は20分程度、その他の受験者については15分程度を予定しています。

●入試に関する詳しい情報は、大学のホームページをご覧ください。



お問い合わせ先

鳴門教育大学大学院
 専門職学位課程 高度学校教育実践専攻教職系 幼児教育コース

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748
 TEL&FAX 088-687-6299 youji@naruto-u.ac.jp



令和8年度鳴門教育大学幼稚園教諭免許法認定講習 受講申込書

[受講者本人記入欄]

ふりがな		(顔写真) 縦 36~40mm 横 24~30mm ※ここに貼り付けられない場合は、別途送付ください。	
氏名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
所持する免許状 (○を付けてください)	幼稚園教諭 二種 免許状 ・ 保育士資格		
連絡先	現住所	(〒 -)	
	電話番号		
	Eメール		
勤務先	名称		
	所在地	(〒 -)	
	電話番号		
受講を希望する科目 (○を付けてください)		幼児と環境	7月26日(日) 7月27日(月)
		保育内容(人間関係)	11月14日(土) 11月15日(日)
		教職論	12月19日(土) 12月20日(日)
		幼児理解と保育実践の心理学	8月4日(火) 8月5日(水)
		教育相談論	10月3日(土) 10月4日(日)
		子どもの理解と援助	8月28日(金) 8月29日(土)

[申込書記入時の注意事項]

1. 受講申込書は、記載事項に間違いや記入漏れがないことを確認してから提出してください。
2. 写真は、3ヶ月以内に撮影した上半身、正面向き、脱帽のものを貼付ください。
3. 連絡先電話番号は、講習当日の朝に連絡できる電話番号を優先してください。
4. 連絡先Eメール欄には、ご自身で速やかに確認できる個人のメールアドレスを記入してください。
5. 講習に係る連絡や受講許可通知、単修得証明書の送付はメールで行います。また、講習で使用する学習支援システムの登録にもメールアドレスを使用します。予めご了承ください。
6. 受講申込みに当たり、本学が取得した個人情報及び履修認定試験により行った評価等の個人情報は、以下の目的で利用します。他の目的では使用しません。
 - (1) 受講申込み受付及び履修認定に関する業務
 - (2) 都道府県教育委員会等より、履修認定に関する照会があった場合

